

<全体分析>

試験時間 60分

解答形式

マーク式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

解答数は、昨年度と変わらず50問。空欄補充15問、単答式11問、正誤17問、年代整序6問に加え、3つの空欄に当てはまる語句の組合せ問題が1問出題された。難易度は、昨年度が易化した分、今年度はやや難化したといえよう。

出題の特徴や昨年との変更点

語群は例年通り五十音順となっている。例年、戦後史・文化史から多く出題される傾向がある。正誤問題において、5つの選択肢のうち誤っているもの2つの組み合わせを選ぶ形式が新たに登場した。正誤問題が多く出題されるのが本学部の特徴であるが、23年度から誤文の数が明確となり、多少取り組みやすくなった。

その他トピックス

昨年度と同様にいくつかの史料を扱った出題がみられた。また、歴史総合を意識した日本史の知識を絡めた出題もみられた。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
I	マーク式	人の移動と宗教	(7)(8)アムリトサルはやや難。シク教徒総本山の寺院という部分から想起する。(13)(14)(a)バトウはチンギス=ハンの長子ジュチの次子。(23)(24)早い年代から順に[07]フィリピン(1946)→[01]パキスタン(1947)→[06]ビルマ(1948)→[03]ラオス(1953)→[04]マラヤ連邦(1957)→[02]シンガポール(1965)→[05]バングラデシュ(1971)となるが、独立の遅い順から考えたほうが解きやすい。(25)(26)(c)ターリバーンの結成はソ連軍撤退後の1994年頃であるため、ソ連によるアフガニスタン侵攻後の混乱の中で組織されたという内容に戸惑った受験生もいただろう。(e)「文明の衝突」を唱えたのはハンチントンであり、新自由主義ではなく新保守主義の影響を受けている。	標準
II	マーク式	世界遺産	(41)(42)[02]中王国に移行したのが前21世紀→[05]ヒクソスが侵入した中王国末期が前18世紀→[03]クシュ王国が都をテーベにおいたのが前8世紀頃→[01]アッシリアがエジプトを征服するのが前7世紀→[04]クシュ王国がメロエに遷都するのが前7世紀となる。それぞれの年代が正確にわからなくても、クシュ王国は新王国時代の後にエジプトを支配したが、アッシリアの侵入で後退し、メロエに遷都したという流れが想起できれば解答可能である。(43)(44)[01]は難。新人は約20万年前にアフリカに出現したが、彼らがオセアニアに渡ったのは約5万年前。(49)(50)も難しい。[01]オタワ条約ではなくウィーン条約。オタワ条約は対人地雷に関する条約。[04]包括的核実験禁止条約は2024年現在において未発効である。	やや難

III	マーク式	綿花の歴史	<p>(51) (52)のマドラスは難。(57) (58) [01]アウラングゼーブの支配地域は、インド南部のコーチンまでは届いていない。教科書・図版などに、アウラングゼーブ治世期の支配領域は掲載されているため、日頃から地図を確認する習慣をつけておきたい。(63) (64)は難。タリム盆地南のオアシス都市という情報からホータンを導く。(65) (66) [04]李時珍の『本草綱目』ではなく、宋応星の『天工開物』についての記述。一部教科書に記載があるが細かい。(75) (76)南ベトナム解放民族戦線が結成されたのが1960年であり、その翌年にアメリカ合衆国大統領に就任という部分からケネディを導く問題。</p>	やや難
IV	マーク式	蒋介石の書簡	<p>史料Aは第二次世界大戦後の国共内戦の時期(1946～49)、史料Bは中国国民党一中全会の前年に当たる1923年、史料Cは北伐が完成した1928年頃、史料Dは蔣経国の59歳の誕生日である1969年頃、史料Eは第一次世界大戦勃発直前の1914年頃、史料Fは冀東防共自治政府が存在した1935～38年頃、史料Gは第二次世界大戦において日本が降伏する直前の1945年頃、史料Hは満州事変に際し、中華民国が国際連盟に提起した1932年頃である。(77) (78)当時のアメリカ大統領はトルーマン。(81) (82)ソヴィエト政権が成立し政治・経済的に安定していく過程で、周辺諸国との関係が対立から協調へと移っていくことを想起し、5つの選択肢のなかで最後の出来事がイギリスとの国交樹立になると考え、[04]を正解と導きたい。(83) (84) [04]が明らかな誤文であるため正解としたが、[03]孫文が洗礼を受けたのはハワイではなく香港である。(85) (86)書簡差出人の長男は蔣経国。(c)「内省人」は本省人を指していると思われるが、教科書には見られない表記である。(87) (88) [02] Yの袁世凱が臨時大統領に就任した後に国会が成立するため[02]が正解になる。(91) (92)冀東防共自治政府の本拠地が通州であることは受験世界史の知識レベルでは厳しい。</p>	やや難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

慶大法学部の入試問題では、戦後史・文化史などがよく扱われる。今年度もそのような傾向が見られ、特に現代史からの出題が目立った。ほかの入試問題ではあまり見られない、いわゆる難問も出題される。近年難化傾向が続いていた本学部であるが、昨年度はやや取り組みやすい問題となった。しかし、今年度は実教出版・東京書籍・帝国書院・山川新世界史など、一部の教科書のみで見られる微細な事項に依拠した設問が再び増加し、やや難化した。対策としては、過去問研究に時間を割き、そのうえで重点をおくべき第二次世界大戦後の東西対立などに関する丁寧な学習を心がけたい。難問については、消去法も大きな武器となるだろう。